●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童生徒が増えており、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	前期課程児童に対しては、家庭学習習慣の定着のため、長期休業中の学習支援事業や読み聞かせ事業を行った。後期課程生徒に対しては、基礎学力向上のため、オンライン及び対面での学習機会の提供を行った。	前期課程児童に対しては、これまでの取組を継続して行う。後期課程生徒に対しては、市内のボランティア活動団体、市内在住の大学生、教員免許保有者等の確保に努めているが、人材確保が困難なことからオンライン授業委託を行う。受講できる教科を増やし、タブレット等を用いた学習を行うことで時間や場所に制限されない学習機会を提供する。	家庭学習を日常的に行う児童生徒が増える。	普段、学校の授業以外に全く勉強をしない生徒の割合（令和7年度　全国学力・学習状況調査結果）	33	%	11	0%	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた	・前期課程児童に対する学習支援事業は、夏季・冬季を継続して参加する児童が多く、家庭学習習慣の定着に繋がった。 ・後期課程生徒に対する学習支援事業は、参加人数の増加が課題である。生徒及び保護者に対する周知の方法や、支援内容について検討を要する。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。